

都民の願い
に応える

給付型 高校生 向け 奨学金を

学費の負担軽減も

共産党都議団が

小池知事に提案

日本共産党東京都議団は10月25日、「給付型奨学金と学費負担軽減の拡充にむけた提案」を小池百合子知事あてに申し入れしました(下写真)。

提案の内容は、都民の願いに応える奨学金制度を実現し、学費負担を軽減するための次の4項目です。

共産党の提案

- ①都独自の給付型奨学金の実施にあたっては、高校生活の実態に合わせ、所得制限を高く設定し十分な金額を支給する
- ②私立高校生にたいしては、授業料に加え入学金や施設費なども軽減の対象とし、幅広い階層の負担軽減がすすむよう支援する
- ③資格があるのに受給できない生徒がでないよう、簡略な制度設計にする
- ④経常費2分の1補助をはじめとする私学助成を堅持・拡充する

都議団は「都は首都大学東京と協力して子どもの貧困対策の調査もしています。これらもふまえ、困っている生徒がもれないような制度をつくってほしい」と強調しました。

若者、暮らしを守る都政を

家庭の経済的な事情で子どもの希望が損なわれることがあつてはなりません。高校生向け奨学金の設置については小池知事も日本共産党の質問にたいし、「都独自の給付型奨学金の検討をすすめる」と答弁しています。ぜひ力をあわせ、実現させましょよう。



都議会議員(板橋区選出)

とくとめ・みちのぶ

とくとめ道信

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471

2016年10・11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

提案の全文は
HPより▼



▶給付制奨学金の創設について野田・知事特別秘書(左端)に申し入れる日本共産党都議団

